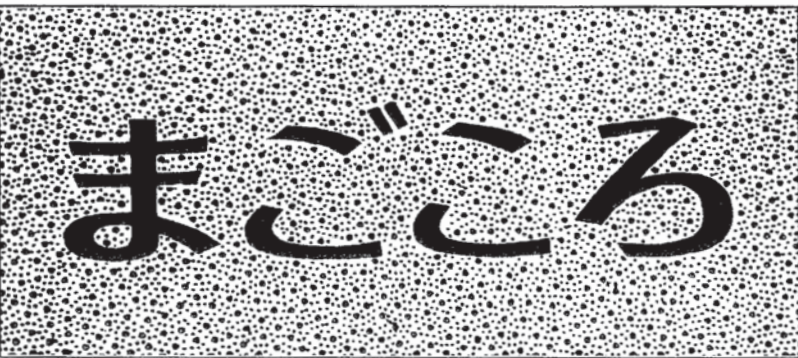




第53号

発行日 平成24年3月31日
発行 星が丘地区社会福祉協議会
星が丘公民館内
TEL 042-755-9955
編集 広報紙編集委員会

みんなのつどい フェスティバル



地域包括支援センターにプレゼント！



完成したツリー



ミニツリー作り

つながる地域の輪

昨年11月26日（土）に「みんなのつどい フェスティバル」が開催されました。例年好評のフラワールフ、風作りなどが行われ、延べ172人の参加者がありました。その中で、今年初めて「ミニツリー作り」を行いました。

大島のキャンプ場で拾って来たまつぼっくりの色付けを、障がい者施設の『陽だまり作業所』さんをお願いしたところ、緑色と銀色に色付けするだけでなく、ペットボトルのキャップを用いて、ツリーが立つように台を付けて下さいました。

そのまつぼっくりに、参加者の方たちがモールやビーズなどで、思い思いに飾り付けをしてツリーを完成させました。

参加者の方には一人2個のツリーを作っていたくようお願いしました。一つは自宅へ持ち帰り用。もう一つは地域の高齢者の方へのプレゼント用です。

子どもたちは、静かに集中して作業をしたり、「もっとキラキラに

したいから、もっとビーズが欲しい」と言ったりしながら、楽しく工夫をこらしていました。大人は「手先を使うから、これはいいわね」、「孫にプレゼントしたらきっと喜ぶわ」等とおっしゃりながら、にこやかに作成されていました。

出来上がったツリーは、一つ一つに気持ちがこもっていて、とてもかわいく素敵なものになりました。

後日、プレゼント用のツリーをラッピングして、40個程を地域包括支援センターにお届けしました。「デイサービスにいらした方や、一人暮らしの方を訪問する際にお渡ししますね」と、大変喜んで受け取って下さいました。

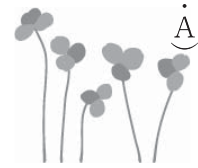
地域の障がい者施設の方々が下準備を下さった物を地域の子どもや大人が作成し、出来上がったものを地域包括支援センター等を介して地域の高齢者の方々にお渡しする。この事を通じて地域が一つの輪としてつながったのではないのでしょうか。

赤い羽根共同募金

への思い

10月1日、地区社協として横山の業務スーパーとオーケー相模原店で募金活動を行い、多くの浄財をいただきました。募金活動をしなから、子どもの頃の「共同募金」への思いと、最近の「共同募金」への自分の思いに、違いを感じるようになったことに気づきました。子どもの時は純粹に「かわいそうな人たちに助けるんだ」との思いだけでしたが、最近、どこか、何かが違うような思いも抱いているのです。それは年齢のせいなのか、私自身の「地区社協」との関わりのせいなのか、「福祉施設」という職業のせいなのか。私の心の中ではまだ答えがでていません。

しかし、社会生活を送る中で、困っている人がいたときに見過ごしてはいけないことは自明の理です。共同募金運動が、そのような活動としてこれからも続いていくことを望みます。(M・A)



表彰されました 小林さんの高齢者福祉施設 悠朋会を紹介します！

千代田デイサービスセンターには「地域交流スペース」が設けてあります。15人程度の会議室と展示コーナーがあります。展示コーナーでは月替わりで近隣の有志や利用者さんの作品展が常時開催されています。一杯50円のコーヒーカーナーもあります。会議室は地域の方の会合や趣味活動に利用していただくことができます。興味をお持ちのかた、是非一度中へ入ってみて下さい。

私たちは自分たちの事業所を「ちよだ」と呼んでいます。地域みなさんに親しまれ、頼りにされる「ちよだ」になることを目指して頑張っています。これからもお付き合いどうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 悠朋会

受賞おめでとうございます
市社会福祉協議会より市社会福祉活動推進功労者を受賞されました

《表彰の部》
・小林 功様

《感謝の部》
・星が丘畳組合様
・星ヶ丘二葉園様

キャップ・プルタブ回収散

	23年10月 ～24年3月	19年～累計
ペットボトル キャップ	188.9kg	1,490kg (ワクチン約745人分)
プルタブ	47.5kg	227.2kg (約ドラム缶2本)

・ペットボトルキャップは1kg(約400個)10円、20円でポリオワクチン一人分になり発展途上国に送られます。
・プルタブはドラム缶約7本で車椅子一台と交換できます。

皆様の協力のおかげです

23年度募金報告 3,827,187円

日赤社員増強運動	1,067,800円
市社協賛助会員募集	1,087,400円
特別	465,000円
一般	622,400円
共同募金(赤い羽根)	1,295,787円
法人募金	306,200円
戸別募金	961,750円
街頭募金	16,155円
星が丘小学校	9,774円
その他募金	1,908円
年末助け合い	376,200円

東日本大震災義援金報告 398,978円

星が丘地区社協では、23年度のバザーや模擬店の収益、寄付金を大船渡に寄付いたしました。

○福祉バザーより	167,990円
○福祉バザー地区社協模擬店収益	10,905円
模擬店協力店寄付：	92,030円
悠朋会・星が丘二葉園	
ふじ乳児園・創造舎	
○公民館祭	28,054円
(地区社協模擬店、畳組合より)	
○地区社協会計	100,000円

編集後記

今年の冬の寒さに耐えきれず、頂いたまま放って置いた湯たんぽを使ってみた。お弁当箱程の大きさにも関わらず、その暖かさにびっくり！子どもの頃は当たり前に使っていたのに・・・。

便利さに慣れ切ったからだか、少し自然の暑さや寒さを思い出した。私たちはもう一度、自然との調和を考えた暮らしを考える時が来たのかもしれない。

♪子育てサロンの防災訓練♪

昨年11月の星が丘子育てサロンで防災訓練を実施しました。

事前に民生委員の役割分担を打ち合わせ、誘導をお願いした二葉園の先生の合図で避難開始。公民館の玄関を出た所で、先生の注意事項を聞き部屋に戻り、避難時の心がけ等の説明を受けました。

- ①荷物はコンパクトにする
 - ②さらしやスローパーの袋が役に立つ
 - ③スリッパを用意しておくことよい
- 次に以前消防に携さわった民生委員に次のようにアドバイスしていたできました。

- ①靴はきちんとはく
- ②誘導の声は大きくする
- ③頭に座布団等をかぶる

後日、参加したお母さんに感想を伺った所、子どもをつれての避難について話を聞けて良かったとの事でした。サロンでは今後も防災訓練を取り入れてゆく予定です。



避難開始～

沢山のお友達と交わえる子育てサロンは、星が丘地区の民生委員を主体に左記の三か所で無料で行っています。(時間は午前10時～11時30分)

○星が丘公民館・毎月第二水曜日
○千代田七丁目自治会館
・毎月第三水曜日
(4月から七丁目自治会館に変わります。)

○横山六丁目集会所

・毎月第四水曜日
公民館、子どもセンターに置いてある子育てサロンの日程をご覧下さい。参加をお待ちしています。

◎地区社協の実習生でサロンに参加した小林さんに感想をいただきました。

短い期間の実習でしたが、星が丘地区社協の方、民生委員の方には大変お世話になりました。「子育てサロン」等に参加させていただき、民生委員の方が中心となっているからこそ、子育て支援に強みのある元気で明るい星が丘が作られると感じました。実習で得た経験を将来、社会福祉の道で活かしていきたいです。

小林迪世(桜美林大)

第25回 福祉バザーを開催

11月6日(日)、公民館を会場に第25回福祉バザーが開かれました。その様子を紹介します。

■自治会・ボランティアの協力で準備

例年通り、自治会の協力でバザーの品物が集められ、昨年度とほぼ同量が集まりました。公民館コミュニティ室は提供品で一杯です。

11月2日には、その品の分類と値付けをしました。実はその作業が大変なのです。それでも社協の理事と多くのボランティアの皆さんにご協力いただき予定より早めに終わり、5日(土)の午後にはバザーの品物を並べることが出来ました。

■雨を心配しながら当日を迎える

6日(日)、バザーの当日です。前日の天気予報では、「小雨」。雨では人の集まりが悪くなると心配しましたが、幸い雨が降ることはなく実施できました。

朝8時に集まって準備です。全員でテントを張ってから、それぞれの分担の準備にかかります。

9時半ごろには、いつものように公民館玄関前にお客が並び始めました。そして地区社会福祉協議会の野中会長より挨拶があり、10時、バザーの開催となりました。

■18万円を超える売上に感謝

福祉バザーですが、公民館駐車場では模擬店も開かれ、うどん、焼きそば、焼きイモ、たこ焼きなど手作りの味を大勢の人が楽しみました。

メインのバザー会場です。例年よりややお客は少なめに感じましたが、来場者は途切れることなく続きしました。「これは安くて良い品だ」とか「こんな風に使うんだよ」など、会場では情報交換をしながら買い物を楽しむ姿が見られました。

午後2時には閉会となりました。バザーの売上金が18万3千円、その他模擬店の協力金や募金を合わせて28万円程が集まり、必要経費を差し引き27万円程の収益を得ることができました。

なお収益金は大船渡市への復興支援金とさせていただきます。



福祉学習会開催 10月15日(土)

「楽しく笑って元気になろう」と題して市内に在住で、現在横浜市非常勤医師をつとめながら社会人落語協会にも所属をし、市公民館等で落語の高座を数多くつとめていられる古橋彰先生の健康講話と健康落語がありました。

第一部 講演会

○笑いは活力

ある脳神経科の院長さんは、「笑いは活力」といい、病院内で落語を聞かせています。脳卒中で倒れた人などに落語を聴かせると笑うことにより麻痺が取れたり、リハビリ訓練にも意欲が出てきて、脳波も良くなるという研究を発表しています。80歳でいまさら食べ物制限しよう、酒・たばこを止めようより笑っている方がいい。

○自分の健康法を続け、日常生活に注意

高齢者が注意することは、「身近な自分の健康法を続け、日常生活での事故に気を付ける」ことです。家の中で転んで寝たきりになる人など、家の中の怪我は多いのです。基礎体力のある人は癌治療の化学療法にも強く、食欲もあり体力が落ちないようです。



怪我をしない範囲で歩いたり、ハイキング等少し運動をしていただきたい。体を動かすことはいいことで脳の働きもよくなります。

○ストレスをためず笑って過ごす

生きがいがあると長生きできます。好きなことを見つけて行い、やりたくないことはしない方がいい。また、ストレスをためないこと、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の全てではありません。ストレスで病気になるます。とにかく笑って過ごし元気で健康が一番大事です。

第二部 落語

即席の高座を設け寄席の雰囲気を作り上げてから「寿限無」が演じられました。寿限無とは限り無い長寿のことだそうです。笑わせていただき元気で健康をいただきました。日常生活で大いに笑い健康で元気に過ごしたいものです。

敬老事業、

盛況にて終了!!



敬老会は平成22年度まで相模原市が市民会館で行っていましたが、平成23年度から市内各地区で行うことになりました。

星が丘地区では関係団体が協議の結果、敬老祝い品の配布及びなつかしい映画の会を実施することになりました。

その結果、関係者の皆様のご尽力により全ての敬老事業を次の通り盛況にて終了することができました。

一 敬老祝い品の配布

70歳以上の一人暮らし及び77歳以上の方、合わせて1, 276名に民生委員より和菓子や9月中に配っていた皆様から大変喜ばれました。



二 映画会の開催

10月7日「ひばり・チェミのおしどり千両傘」及び10月25日「水戸黄門漫遊記 森繁久彌主演」の2作品を各日も午前・午後の2回上映し、延べ120名の方がご覧になりました。

フィルム交換・休憩時には星が丘地区地域包括支援センター職員より元気に過ごす秘訣、風邪予防に効果的なうがい・手洗いの方法のお話及び介護予防体操などの実技講習を受けました。

また、上映終了後、地区社協理事や地域包括支援センター職員も加わってお茶会を開催しました。

お友達や久しぶりに会われた方々と話が弾んでいる様子が見受けられ和やかな交流の場となりました。映画会に参加された方々からは「なつかしい映画でとても嬉しかった」「お茶会もゆつくり楽しめて良かった」などの感想をいただきました。

